

# 君津広域水道用水供給事業の業務状況

(平成21年度下期)

君津広域水道企業団

## 第1 事業の概況

君津広域水道企業団水道用水供給事業は、昭和49年度に事業着手して以来36年目を迎え、構成団体である千葉県並びに木更津市、君津市、富津市及び袖ヶ浦市の各水道事業者に対し、昭和55年度の供給開始から安定した給水を続けております。

この間、昭和59年度に創設事業の施設建設を完了して1日最大給水量135,000 $\text{m}^3$ の供給体制を確立し、その後、更なる水需要に対応するため昭和58年度から第1次拡張事業を実施しており、現在、創設事業系の大寺浄水場施設135,000 $\text{m}^3$ と拡張事業系の十日市場浄水場施設60,000 $\text{m}^3$ を併せた1日最大給水量195,000 $\text{m}^3$ の施設能力により水道用水の供給を行っています。

また、第1次拡張事業は、近年の社会経済情勢の変化等を反映し、各市とも水需要の大幅な増量が見込まれず、数次にわたる需給計画の見直しにより、計画目標年度を平成37年度、1日最大給水量を205,000 $\text{m}^3$ としております。

このような状況の下、当企業団では、厚生労働省の推進する地域水道ビジョンとして平成18年度を初年度とする将来5ヶ年の「中期経営計画」を策定するとともに、事業経営の健全化に向けた取組みを実施するため「集中改革プラン」を策定し、公表いたしました。

近年の財政状況は、平成19年度から平成20年度にかけて国の公債費負担対策による企業債の補償金免除繰上償還制度を活用したことにより、将来における利払費の抑制が図られ、大幅に好転しておりますが、本年度から拡張事業が特定広域化施設整備費国庫補助の対象外となったことなどと相俟って、今後は施設の老朽化に伴う大規模修繕等の維持管理経費や施設の更新・改良、耐震化等の投資的経費の増大が見込まれており、これらの事業資金の確保が重要な課題となっております。

今後は、次期5ヶ年の「施設整備計画」及び「財政収支計画」を策定し、適時適切な施設整備を図るとともに、引き続き経営改善に積極的に取り組み、各構成団体に清浄にして安全かつ廉価な生活用水を安定供給するため、効率的な事業運営に努めてまいります。

### (平成21年度の事業概要)

#### 1 用水供給事業

本年度の年間総給水量は45,130,192 $\text{m}^3$ （対前年度比0.97%増）となり、当初予定量46,400,306 $\text{m}^3$ に対し97.26%の供給実績となりました。

また、1日平均給水量は123,644 $\text{m}^3$ 、1日最大給水量は7月16日に141,213 $\text{m}^3$ を記録し、負荷率は87.56%となりました。

なお、送水量に対する有収率は、99.48%となりました。

業 務 量

区 分	上 期	下 期	計	前 年 度	比 較						
					増 減	対前年度比					
取 水 量	23,572,833 m <sup>3</sup>	21,928,254 m <sup>3</sup>	45,501,087 m <sup>3</sup>	45,040,535 m <sup>3</sup>	460,552 m <sup>3</sup>	101.02 %					
送 水 量 (A)	23,507,666	21,860,620	45,368,286	44,913,819	454,467	101.01					
(予定給水量) 有 収 水 量 (B)	( 24,081,178 ) 23,368,669	( 22,319,128 ) 21,761,523	( 46,400,306 ) 45,130,192	( 44,992,682 ) 44,696,198	433,994	100.97					
構成団体別内訳	千 葉 県	(9,655,000) 9,653,732	% 41.31	(8,960,000) 8,961,248	% 41.18	(18,615,000) 18,614,980	% 41.25	(18,615,000) 18,614,982	% 41.65	△ 2	99.99
	木 更 津 市	(6,250,600) 5,512,157	23.59	(6,073,500) 5,351,753	24.59	(12,324,100) 10,863,910	24.07	(11,189,930) 10,525,942	23.55	337,968	103.21
	君 津 市	(3,117,150) 3,382,609	14.48	(3,000,250) 3,393,249	15.59	(6,117,400) 6,775,858	15.02	(5,785,250) 6,257,990	14.00	517,868	108.28
	富 津 市	(2,266,820) 2,241,493	9.59	(1,675,180) 1,632,176	7.50	(3,942,000) 3,873,669	8.58	(3,942,000) 3,911,151	8.75	△ 37,482	99.04
	袖 ヶ 浦 市	(2,791,608) 2,578,678	11.03	(2,610,198) 2,423,097	11.14	(5,401,806) 5,001,775	11.08	(5,460,502) 5,386,133	12.05	△ 384,358	92.86
1日平均給水量 (C)	127,698	119,569	123,644	122,455	1,189	100.97					
1日最大給水量 (D)	(7月16日) 141,213	(12月31日) 132,575	(7月16日) 141,213	(8月8日) 142,031	△ 818	99.42					
有 収 率 (B/A)	99.41 %	99.55 %	99.48 %	99.52 %	△ 0.04 ポイント	—					
負 荷 率 (C/D)	90.43 %	90.19 %	87.56 %	86.22 %	1.34 ポイント	—					

(注) 予定給水量及び構成団体別内訳の上段 ( ) 内は当初の申込水量で、構成団体別の比率は供給実績(有収水量)による供給割合を示す。

## 2 拡張事業

本年度の執行事業費は 414,992,911円で、水処理改善事業としてトリハロメタンや薬品注入量等の低減化を図るため、前年度に引き続き大寺浄水場内の中間塩素注入混和設備工事を実施するとともに、薬品注入棟の硫酸注入設備工事並びに十日市場浄水場の中間塩素付帯設備工事として薬品沈澱池覆蓋設置工事等を実施しました。

## 3 建設改良事業

本年度の執行事業費は 355,488,761円で、上記の拡張事業と併せて大寺浄水場の塩素注入設備を従来の液化塩素設備から次亜塩素酸ナトリウム設備へ転換するための設備工事並びに施設の延命や耐震化を図るため、取水ポンプ棟の無停電電源装置更新工事及び大寺浄水場の耐震診断等を実施しました。

## 第2 経理の状況

### 1 平成21年度予算の執行状況

#### (1) 収益的収入及び支出

##### 収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額	執 行 額			執行率 (%)
		上 期	下 期	計	
用水供給事業収益	6,691,932,000	3,361,048,072	3,318,422,294	6,679,470,366	99.81
営業収益	6,653,153,000	3,353,317,595	3,287,346,004	6,640,663,599	99.81
営業外収益	38,779,000	7,730,477	31,076,290	38,806,767	100.07

##### 支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額			執 行 額			執行率 (%)
	現年度分	繰越分	計	上 期	下 期	計	
用水供給事業費用	5,416,328,000	0	5,416,328,000	3,032,671,607	2,313,662,870	5,346,334,477	98.71
営業費用	4,599,356,000	0	4,599,356,000	2,718,688,553	1,819,675,171	4,538,363,724	98.68
営業外費用	710,161,000	0	710,161,000	313,983,054	396,176,820	710,159,874	100.00
特別損失	97,811,000	0	97,811,000	0	97,810,879	97,810,879	100.00
予備費	9,000,000	0	9,000,000	0	0	0	0.00

## (2) 資本の収入及び支出

## 収 入

(単位：円)

区 分	予 算 額			執 行 額			執行率 (%)
	現年度分	繰越分	計	上 期	下 期	計	
資本の収入	427,057,000	0	427,057,000	0	427,057,000	427,057,000	100.00
企業債	140,000,000	0	140,000,000	0	140,000,000	140,000,000	100.00
出資金	287,057,000	0	287,057,000	0	287,057,000	287,057,000	100.00

## 支 出

(単位：円)

区 分	予 算 額			執 行 額			執行率 (%)
	現年度分	繰越分	計	上 期	下 期	計	
資本の支出	3,657,521,000	0	3,657,521,000	2,101,552,924	1,545,767,303	3,647,320,227	99.73
建設改良費	359,259,000	0	359,259,000	263,609,493	91,879,268	355,488,761	98.96
拡張工事費	421,422,000	0	421,422,000	406,930,270	8,062,641	414,992,911	98.48
企業債償還金	2,871,987,000	0	2,871,987,000	1,431,013,161	1,440,973,014	2,871,986,175	100.00
国庫補助金返還金	4,853,000	0	4,853,000	0	4,852,380	4,852,380	99.99

## 2 平成21年度君津広域水道企業団水道用水供給事業損益計算書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(注) 各項目の上段( )内は、平成21年度下期の数値を示す。

(単位：円)

1 営業収益			
	(3,118,673,992)		
(1) 給水収益	6,290,185,408	-	
	(412,338)		
(2) 受託工事収益	412,338		
	(11,719,400)	(3,130,805,730)	
(3) その他の営業収益	<u>33,843,800</u>	<u>6,324,441,546</u>	
2 営業費用			
	(1,230,845,290)		
(1) 原水及び浄水費	1,863,145,394		
	(193,075,075)		
(2) 送水費	292,290,861		
	(175,804,350)		
(3) 総係費	339,954,303		
	(968,410,538)		
(4) 減価償却費	1,936,078,038		
	(15,345,155)	(2,583,480,408)	
(5) 資産減耗費	<u>15,559,485</u>	<u>4,447,028,081</u>	
営業利益			(547,325,322)
			1,877,413,465
3 営業外収益			
	(10,469,265)		
(1) 受取利息及び配当金	17,063,906		
	(20,450,000)		
(2) 他会計補助金	20,450,000		
	(153,182)	(31,072,447)	
(3) 雑収益	<u>1,274,537</u>	<u>38,788,443</u>	
4 営業外費用			
	(252,181,420)		
(1) 支払利息	518,335,574		
	(890,000)	(253,071,420)	(△ 221,998,973)
(2) 繰延勘定償却	<u>1,780,000</u>	<u>520,115,574</u>	<u>△ 481,327,131</u>
経常利益			(325,326,349)
			1,396,086,334
5 特別損失			
	(97,810,879)	(97,810,879)	(△ 97,810,879)
(1) その他特別損失	<u>97,810,879</u>	<u>97,810,879</u>	<u>△ 97,810,879</u>
当年度純利益			(227,515,470)
			1,298,275,455
前年度繰越利益剰余金			(△ 1,139,671,332)
			<u>0</u>
当年度未処分利益剰余金			(△ 912,155,862)
			<u>1,298,275,455</u>

### 3 平成21年度君津広域水道企業団水道用水供給事業貸借対照表

(平成22年3月31日)

(単位:円)

資 産 の 部		
1 固定資産		
(1) 有形固定資産		
イ 土地		4,845,286,989
ロ 建物	9,423,217,210	
減価償却累計額	<u>3,327,791,015</u>	6,095,426,195
ハ 構築物	63,088,631,733	
減価償却累計額	<u>19,663,738,947</u>	43,424,892,786
ニ 機械及び装置	28,419,292,128	
減価償却累計額	<u>16,697,352,819</u>	11,721,939,309
ホ 車両運搬具	15,274,266	
減価償却累計額	<u>11,088,750</u>	4,185,516
ヘ 船舶	4,955,560	
減価償却累計額	<u>2,715,548</u>	2,240,012
ト 工具器具及び備品	298,580,646	
減価償却累計額	<u>212,229,867</u>	86,350,779
チ 建設仮勘定		<u>169,234,000</u>
有形固定資産合計		66,349,555,586
(2) 無形固定資産		
イ 施設利用権		129,032,770
ロ その他無形固定資産		<u>1,431,412</u>
無形固定資産合計		<u>130,464,182</u>
固定資産合計		66,480,019,768
2 流動資産		
(1) 現金預金		3,970,076,737
(2) 未収金		552,676,402
(3) 貯蔵品		<u>26,000,000</u>
流動資産合計		4,548,753,139
3 繰延勘定		
(1) 試験研究費		<u>35,915,000</u>
繰延勘定合計		35,915,000
資産合計		<u><u>71,064,687,907</u></u>

負債の部

4 固定負債			
(1) 引当金			
イ 退職給与引当金	772,814,000		
ロ 修繕引当金	<u>309,658,000</u>		
引当金合計		<u>1,082,472,000</u>	
固定負債合計			1,082,472,000
5 流動負債			
(1) 未払金		214,296,301	
(2) その他流動負債		<u>2,707,810</u>	
流動負債合計			<u>217,004,111</u>
負債合計			<u>1,299,476,111</u>

資本の部

6 資本金			
(1) 自己資本金			
イ 他会計出資金	17,798,724,000		
ロ 組入資本金	<u>9,992,754,319</u>		
自己資本金合計		27,791,478,319	
(2) 借入資本金			
イ 企業債	<u>19,471,564,601</u>		
借入資本金合計		<u>19,471,564,601</u>	
資本金合計			47,263,042,920
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 国庫(県)補助金	19,909,682,297		
ロ 工事負担金	800,157,930		
ハ 受贈財産評価額	233,191		
ニ その他資本剰余金	<u>493,820,003</u>		
資本剰余金合計		21,203,893,421	
(2) 利益剰余金			
イ 当年度未処分利益剰余金	<u>1,298,275,455</u>		
利益剰余金合計		<u>1,298,275,455</u>	
剰余金合計			<u>22,502,168,876</u>
資本合計			<u>69,765,211,796</u>
負債資本合計			<u><u>71,064,687,907</u></u>

### 第3 平成22年度予算の概要

平成22年度予算は、年間総給水量45,747,994<sup>m</sup> (対前年度比 1.41%減)の給水と将来にわたる安定供給を確保するための予算として次のとおり計上しました。

また、拡張事業は、施設整備計画に基づき、十日市場浄水場のトリハロメタンの低減化対策を目的として前年度から施工している中間塩素付帯設備(薬品沈澱池覆蓋)設置工事を実施する予定です。

なお、建設改良事業は、施設整備計画に基づき、老朽化した大寺浄水場の1系薬品沈澱池電気設備、自動除塵機、1系薬品沈澱池フロキュレータ、3号脱水機、総ろ過流量計、PAC・苛性貯蔵槽液位計、N03・4濃縮槽界面計及び十日市場浄水場の送水ポンプ棟無停電電源装置の更新工事等を実施するとともに、これらの更新に伴う中央監視設備の改良工事及び殺菌処理薬品の次亜塩素酸ナトリウムへの転換に伴う液化塩素設備の撤去工事並びに施設の耐震化事業として、十日市場浄水場と送水施設の耐震診断を実施する予定です。

#### 1 収益的収入及び支出

##### 収 入

(単位：千円)

区 分	平成22年度予算額	平成21年度当初予算額	比較増減
用水供給事業収益	6,683,682	6,713,158	△ 29,476
営業収益	6,656,189	6,672,581	△ 16,392
営業外収益	27,493	40,577	△ 13,084

##### 支 出

(単位：千円)

区 分	平成22年度予算額	平成21年度当初予算額	比較増減
用水供給事業費用	5,567,783	5,709,496	△ 141,713
営業費用	4,968,782	4,908,753	60,029
営業外費用	590,001	692,259	△ 102,258
特別損失	0	99,484	△ 99,484
予備費	9,000	9,000	0

#### 2 資本的収入及び支出

##### 収 入

(単位：千円)

区 分	平成22年度予算額	平成21年度当初予算額	比較増減
資本的収入	225,240	423,920	△ 198,680
企業債	50,000	140,000	△ 90,000
出資金	175,240	283,920	△ 108,680

## 支 出

(単位：千円)

区 分	平成22年度予算額	平成21年度当初予算額	比 較 増 減
資 本 的 支 出	4,311,658	3,806,472	505,186
建設改良費	1,694,925	450,239	1,244,686
拡張工事費	211,893	479,677	△ 267,784
企業債償還金	2,404,840	2,871,703	△ 466,863
国庫補助金返還金	0	4,853	△ 4,853

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 4,086,418千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 89,003千円、過年度分損益勘定留保資金3,155,545千円及び当年度分損益勘定留保資金 841,870千円で補てんする予定です。

### 第4 事業の経営方針

当企業団を取り巻く現状は、近年の景気回復基調においても、節水型社会を背景として構成団体の水需要は依然として鈍化或いは低落傾向で推移しており、給水収益の増加は見込めない状況であり、受水事業者からは受水費の軽減要望を受けております。

また、構成団体の一般会計にあってもそれぞれ厳しい財政運営を強いられており、当企業団に対する繰出金についても、平成11年度から削減措置が講じられるなど、財政状況は引き続き厳しいものとなっております。

以上のように企業団事業を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況にあり、平成19年度から平成20年度にかけて国の公債費負担対策による公的資金の補償金免除繰上償還制度を活用したことにより財政事情が好転したものの、平成21年度から拡張事業が特定広域化施設整備費国庫補助の対象外となったことなどと相俟って、今後は施設の老朽化等に伴う大規模修繕、施設の更新・改良、耐震化等の維持管理経費や投資的経費の増大が見込まれるとともに、依然として194億円余の多額な企業債償還などの義務的経費等が存在していることから、次期5ヶ年の「施設整備計画」及び「財政収支計画」を策定し、適時適切な施設整備を図るとともに、事業経営の健全化に向けた取組を実施し、将来の財政負担の軽減と資金の確保を図りながら事業の安定経営に努めることとしております。